

2014年7月定期報告 と次月度以降の活動予定

《栃木県生活協同組合連合会》
文責：専務理事 中田

活動日誌

7月	3日	県民生活部部長表敬訪問
	4日	生活者懇談会(チェーンストア協会)
	7日	第一回『組合員・役職員学習会』憲法学習
	9日	労福協幹事会
	10日	栃木放送番組審議会
	10日	総合防災訓練全体会
	14日	常務理事会
	15日	ふれあいお茶会
	15日	JA改革検討委員会
	15日	日本生協連「県連活動推進会議」
	17日	とちぎ食の安全ネットワーク全体会
	18日	食と農をつなげる会打合せ
	18日	社団法人コープ福祉とちぎ 社員総会
	18日	日本生協連大災害協議会
	19日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	22日	とちぎ消費者ネットワーク全体会「くらし安全安心課との意見交換会」
	24日	福祉ネットワーク世話人会
26日	第二回『組合員・役職員学習会』TPP学習	
28日	栃木県食の安全安心推進会議	
30日	栃木県労働者共済生活協同組合(全労済)総代会	
30日	福祉ネットワーク「介護保健改定学習会」	
31日	福祉センター理事会	
8月	1日	くらし安全安心課意見交換会
	4日	くらし部会
	5日	日本生協連「会計研究報告学習会」
	7日	小山市総合政策策定懇談会
	7日	労福協幹事会
	7日	防災訓練全体会
	9日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	12日	理事会・監事会
	19日	ふれあいお茶会(夏祭り)
	19日	新しい地域支援のあり方フォーラム
	22日	食と農をつなげる会打合せ
	24日	放射線による健康影響に関する意見交換会(福祉大学大田原校)
	25日	栃木県食品表示セミナー
26日	拉致問題考える国民の集い in とちぎ	
28日	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会	
28日	グループフォーラムキックオフ集会	
29日	介護保健改定学習会(山際氏)	
31日	栃木県・下野市合同総合防災訓練	
9月	3日	Eco農業推進会議
	6日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	11日	6県連合同業態研修会(茨城県)11-12日
	12日	JC 総研 協同組合研究会(明治大学)
	18日	福祉ネットワーク
	25日	消費者フォーラム
	25日	とちぎ食の安全ネットワーク全体会(動物医薬用品学習)
	26日	生協検査
10月	28日	もったいないフェア宇都宮2014
	30日	中央地連運営委員会(県連推進会議)
	3日	関東甲信越行政生協関係者交流会
	6日	くらし部会
	7日	食と農をつなげる会
	9日	食品安全フォーラム(県庁)
	11日	Eco森フェア 2014
	14日	福祉センター理事会
	16日	労福協幹事会
	23日	食の安全フォーラム(佐野)
25日	とちぎ食育推進大会 2014(総合文化センター)	
28日	とちぎ消費者ネットワーク全体会	

県連活動

1. 県民生活部 総会終了挨拶

会員の総代会がほぼ終了し、県生協連の総会が終了し、県民生活部への挨拶を3日に行い、併せて終了届を行いました。30日には、会員最後の全労済

2. 暮らし部会

7月定例会はありませんでした。チェーンストア協会からの「生活者懇談会」の申し入れがあり、消費者団体として参加し、流通業に期待する意見を述べました。

課題では、介護保健の改定に伴う「市町訪問」の準備として会員の取り組みや組合員人数などのデータの集約を行い、日本生協連福祉部山際部長の学習会を8月29日に予定しています。また、うつのみや食育フェア2014、及びECOテック&ライフとちぎ2014の出席内容の検討をすすめています。秋に予定している「食と農をつなげる会」では内容について、JA女性会代表と検討の会議を開催しました。

3. 『組合員・役職員学習会』の開催

情勢学習などを中心テーマに、組合員と役職員を対象とした学習会を2つ開催しました。第一回は7日に「憲法学習会」を実施しました。81名の参加があり、「憲法について改めて学ぶ機会になった」との声がありました。第二回は、26日に「TPP学習会」を行いました。職員が参加しやすいように土曜開催とし、104名が参加しました。アンケートでは、参考になったが大勢をしめ、具体的にはっきりとした講演に「知ることの大切さを知った」などの感想がだされていました。今後も必要に応じて開催していきます。

行政、他団体との協働活動

1. JA改革検討委員会に参加

政府より出された農協改革に対して、自己改革を目的にして検討委員会が開催され、生協連に委員として参加依頼が会長にあり参加しました。協同組合に対する政府の介入に強く不快感があると同時に、同じ協同組合として連帯を強化して共に取り組むことを申し上げました。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

7月17日の全体会では、宇都宮大学 宇田名誉教授による「野菜含硫成分の生理機能と腸内動態」の基礎研究の学習会を実施しました。45名が参加し、改めて基礎研究の重要性について学びました。9月は「動物医薬用品」を予定しています。

課題では、10月9日「第13回とちぎ食品安全フォーラム～放射性物質と食品の安全性について～」の実施について検討をすすめています。併せて県北（県北福祉センターが主催、11月予定）、県南（安足福祉センターが主催、10月23日）会場の取り組みについても共有化をすすめています。

2. とちぎ消費者ネットワーク

7月22日の全体会では、栃木県在住消費者アドバイザー連絡協議会 高岡会長による「消費者市民社会における栃木県内のパブリックコメント制度を検証する」と題した学習会を行いました。パブリックコメントの目的、実施状況を学び、今後の課題について提言が報告されました。54名が参加し、消費者市民社会づくりの大事な課題として学びました。また、暮らし安全安心課消費者行政推進室との意見交換会が実施され、消費者被害に取り組む県の説明があり交流をしました。

課題では、とちぎ消費者カレッジの準備を進めています。学校側と交渉がすすみ5つの学校（宇大・作新短大・栃木農業大学校・宇短大・国学院短大）での開催が決まりました。継続して準備をすすめます。「グループフォーラム」の開催では、キックオフ集会在8月28日に開催され、今後テーマ、参加団体、会場など、詳細を検討し、2月の開催に向けて準備します。

3. 福祉ネットワーク

7月30日の全体会では、服部メディカル研究所 服部所長による「介護保険制度改定」で何が変わるのか？～「新しい地域支援事業」のガイドラインについて～をテーマに学習会が開催されました。44名が参加し、今般行われる改定によって地域支援のあり方の課題を学びました。

震災支援活動

[ふれあいお茶会¹]

<p>7月15日火曜日 参加者 18名 スタッフ 16名 ・生協連 15名 ・ウィズ 1名</p>	<p>○スタッフ感想から</p> <ul style="list-style-type: none">・宇都宮から引っ越しをされる方2家族、迎えるのは良いが別れるのは寂しい。新たな気持ちで前に進んで行ってほしい。送り出すのも私たち（お茶会）の仕事だと思う。・引っ越しをされる方、本人は福島へ帰りたくないがお父様の体の具合が良くないので帰る決心をしたとのこと。今までのお茶会でのおしゃべりをなつかしく思い出した。・引っ越しをされる方、娘さんのいる茨城で暮らすとのこと。浪江では生活できる状態ではなく戻れないとの話に胸が痛んだ。・高齢の方、テレビの話で会話が弾んだが、一日中テレビを見ているとのこと心配になる。・ポップリを作りながら和やかな雰囲気となった。「努力すれば報われる」との話にスタッフが励まされた。・ご夫婦で誘い合わせてお茶会に参加しているとのこと。微笑ましくうれしい気持ちになった。・栃木、益子、足利と県内旅をしているとのこと。「あなたはいかないの」の言葉にこちらが元気づけられている。・しばらく休んでいる方、お宅を訪ねてみたが会えなかった。住んでいることは管理人さんから確認したが引き続き気にかけてあげたい。
---	--

[いわき市四倉仮設住宅お茶会²]

<p>7月21日土曜日 参加者 10人 スタッフ 11人 ・よつ葉生協 1名 ・とちぎコープ 8名 ・県連 2名</p>	<p>恒例の手芸では、卵の殻を使った飾りを作りました。みなさん好きな模様を付けて世界で1個だけの飾りづくりを楽しんでいました。食事は、そうめんをメインに、おにぎりや漬物、デザートとどれもおいしくいただきました。</p> <p>会話では「大雨の時は、トタンに当たる音がすごい」など日常の話から「夕食の準備をすることを『ばんたろう』と言うんだよ」など話がはずみました。「顔だけでも見て行きたい」と用事の前に顔を出してくれた方もおりスタッフ一同感激しました。</p> <p>男性陣は、あらためて海岸沿いの状況を見に行きましたが、堤防のかさ上げが進んでいたり、復興計画の看板が設置されているなどしました。徐々にではありますが、復興が進行しているようでした。</p> <p>被災者の方からは、「毎月来てくれることがうれしい」と「じゃがいも」や「6月に咲く菊」「梅酒」をいただきました。スーパーなどのインフラが十分でないためか、「仮設住宅に居られるだけ居たい」という声もあり、引き続き支援が必要と感じました。</p>
--	--

以上

¹ 栃木県生協連が中心になり、NPO法人ウィズ、行政などの協力のもと、社会福祉法人ふれあいコープ特養みどりの地域交流室を使って開催する福島からの避難者を対象にしたお茶会。①参加者同士をつなげる場、②参加者の想っていること困りごとを受けとめつなげる場、③おしゃべりを楽しんでいただく場の3つの目的を立てて実施しています。基本は毎月第三火曜日開催。

² 栃木県生協連が中心なり、いわき市四倉仮設住宅に暮らす避難者の方を対象にしたお茶会。現地の集会所を借りて実施します。基本は毎月第二土曜日開催。目的は、ふれあいお茶会と同様。